## 第 18回 山梨大学教職大学院 教育実践フォーラム 教職大学院生 研究発表

平成31年2月16日(土) 山梨大学(甲府西キャンパス)総合研究棟 (Y号館)1階

開始時刻	1.5	
NINDRUX!	会場Y-11	会場Y-12
9:50	内田 圭	今井 悠
_	小学校外国語活動における MERRIER Approach を用	児童の知識理解を促す指導の手だて一第五学年に
10:15	いた授業づくり	おける布を用いた製作の過程を中心に一
10:15	太田 圭(*小)	田形麻巳子
_	初等英語教育における部分的 CLIL を用いた授業実	小学校体育科ゴール型ゲームにおける指導の工夫
10:40	践―家庭科・社会科, 2つの統合実践の分析―	―ボールをもたない動きに着目した授業実践を通し
		てー
10:40	齊藤 貴之(*中)	武居拓己
_	中学校英語科における授業改善への提言―小中連	小学校体育科における主運動につながる準備運動の
11:05	携の視点・授業分析を通して一	開発—子どもの主体的選択を目指したベースボール
		型授業実践—
11:05		
_	全体討議	全体討議
11:30		
昼休み		
13:00	神戸 博貴(*小)	近藤 慶一
_	「主体的・対話的で深い学び」をつくる小学校授業の	「できる」実感を伴ったわかりやすい授業について一
13:25	デザイン一思考ツールを活用した授業実践を通して	コーチングを通して一
	<u> </u>	
13:25	佐藤 貴史(*小)	桂原 幸世
_	子どもの見方・考え方が成長する小学校社会科単元	ICT を活用した中学校保健体育科の授業づくり
13:50	デザイン一目標と指導と評価の一体化を通して一	
13:50	矢ヶ崎 憲(*中)	宮澤 和孝(*中)
	中学校社会科における複眼的な見方・考え方の育成	□ 理科を学ぶ有用性を高める授業づくりを目指して―日
14:15	―問いの展開に基づく単元学習を通して一	常生活や社会との関連を中心とした中学校理科のカ
4 4 4 -		リキュラム・マネジメント
14:15	関戸宏樹	A /1 = 1=4
	世界史における新聞を活用した授業実践―歴史的思	全体討議
14:40	考力を伸ばすための工夫—	
14:40		
_	全体討議	
15:05		

- ※\*印の発表者は現職教員の院生です。小・中・高は校種を表しています。
- ※自由に会場(教室)を移動して、関心のある発表をご覧ください。
- ※研究発表と並行して、**進学相談をY-13 教室**で行います。

■研究発表(会場Y-14.会場Y-15)は、裏面です。

## 第 18回 山梨大学教職大学院 教育実践フォーラム 教職大学院生 研究発表

平成31年2月16日(土) 山梨大学(甲府西キャンパス)総合研究棟 (Y号館)1階

	31年2月10日(土) 田朱八子(中別四千	
開始時刻	会場Y-14	会場Y-15
9:50	野田 直子(*高)	藤巻 良輔
_	高等学校における発達障害のある生徒に対する支援	協同的な学習を通して「主体的・対話的で深い学び」
10:15	―中学校実習を生かした授業のユニバーサルデザイ	を実現させる授業づくり
	ン化—	
10:15	北川 圭吾(*小)	森實高毅
_	児童が意欲的に活動ができる学級づくり一特別活動	見方・考え方を育てる数学科の授業実践―中学校2
10:40	における構成的グループエンカウンターの実践を通	年「平行と合同」に着目して一
	して一	
10:40	保坂 直行(*小)	芦澤 龍(*高)
	小学校音楽科における主体的に鑑賞する児童の育成	高校数学における授業スタイルの考察―グループ討
11:05	—言語活動の充実と ICT の効果的な活用—	議を通して一
11.05		
11:05	全体討議	<i>^\+</i> =±=≠
11:30	土冷的硪	全体討議
11.30		
<b>昼休み</b>		
13:00	清水貴美子(*中)	浅川 学(*中)
_	外国語教育における小中連携のあり方―カリキュラ	中学校国語科において「学びの実感」を生み出すた
13:25	ム連携の視点で生徒の自己表現力を高めるための	めに学習評価は有効か
	工夫—	
13:25	藤城 妙子(*高)	森 陸史(*高)
_	まとまりのある文章が書けるようになる指導法の確立	高校国語科において多面的・多角的思考力を育む
13:50	―談話的気づきを促進するための方法―	「問い」とその授業の在り方―国際バカロレアのTOK
		(知の理論)を用いた評論文指導から―
13:50	芦沢 友也(*高)	保坂 加奈子(*高)
	英単語の機械的学習を改善する授業実践―接頭辞	複数作品の「比べ読み」を通して生徒の読みを深める     高校古典の授業実践
14:15	dis を既有知識として活用する有意味学習—	同以以口光・ジス大大・以
14:15		
	全体討議	全体討議
14:40		
14:40		
15:05		

- ※\*印の発表者は現職教員の院生です。小・中・高は校種を表しています。
- ※自由に会場(教室)を移動して、関心のある発表をご覧ください。
- ※研究発表と並行して、**進学相談をY-13 教室**で行います。

■研究発表(会場Y-11.会場Y-12)は、裏面です。